

創部50周年記念式典を終えて

O B 会長 15期 齊藤 健治

昨年11月21日、明治大学リ
バティタワー23階にて、創部50
周年パーティを盛大に開催す
る事が出来ました。北は北海
道から、南は九州・鹿児島ま
で、遠路はるばる大勢のOBに
集まっていたいただきました。OB
は190余名、現役が30名、ご招待
客を入ると、総勢240余名に
もなりました。本当にありが
とうございます。

ご存知のとおり、明治大学
グリークラブは、昭和24年4月
にできた、明治大学合唱団が
その源になります。早稲田大
学グリークラブ100年誌によれ
ば、戦後すぐ、昭和22年7月に
行われた第二回関東合唱祭に、
明治大学音楽部合唱団(男)
(明治のほかには早稲田・慶応・
東大・立教の名前もあります)
の記載があります。(グリーク
ラブではない) 詳しい事は解り
ませんが、いずれにしても、1
期のOBのお力で、明治大学合
唱団から独立し、明治大学グ
リークラブとして文連に正式
に認められたのが、昭和36年、
これをグリークラブの正式な
発足とし、この年から数えて50
年の歴史を数えたのが、今年に
なります。従来の周年行事は、
定演の回数を基準にしていた
ため、混声時代の年月が混在
し、約10年のサバを読んでいた
ことになりました。

突然の提案のように思われ
たかもしれませんが、平成22
年4月17日に行われたOB総
会で、今年度の活動計画に入
れて、承認を受けたところか
ら、正式に準備がスタートしま
した。従来どおり現役の定演
と同日開催にするか、場所は
ホテルにするか、記念誌は作る
か、記念品を用意するか、招待
客は誰にしよう。様々な課題
が次々と湧き上がってきました
。会場に関しては、やはり大
学内が良いということで、OB
の大半が練習会場にした思い
出の記念館跡地に建つ、リバテ
イタワーにしました。時期に関
しては、現役の定演は12月18
日に決まっていたのですが、定演
の終了後では時間がかなり遅
くなること、暮れもたいぶ押し
迫っていることから、定演の1
か月前、11月中旬に決ましま
した。記念誌は50年の歴史を語
るものとして、1期から卒団し
たの49期までの各期に2ペー
ジを割り当て、全員集合とし
て、現在のOBの顔写真・コ
メントを掲載することとしま
した。最終的には700名を越え
る卒団生の内、OB188名、現役
を入れると517名の顔写真を掲
載することが出来ました。記
念品として明治大学校歌の織
柄入り、GLEE CLUBの
刺繍入りネクタイを作成しま

した。(記念誌・ネクタイとも
販売中です)

50周年はクラブの歴史であ
るとともに、OBすべての記念
の二里塚です。その機運を盛り
上げ、一人でも多くの参加者を
集めるため、総会終了後から役
員会・代議員会を、ほぼ半年
の間に13回程開催しました。代
議員の掘り起こしから始めて、
原稿依頼、写真集め、各期の参
加予定人数の読みまで、役員
の皆、代議員の皆、それぞれの知
恵と汗によって50周年を盛會
に終える事が出来ました。本
当にありがとうございました。

中国支部 総会報告

17期 杉本 憲治

昨年11月6日(土)、絶好の
晴天の中、中国支部総会参加
のため、一路広島に向かいま
した。18期坂本さんのお出迎え
をいただき7期沖林先輩のご
自宅に向かい、総会の始まるま
で広島の見光をさせていただ
きました。(深謝)

最初に、坂本君の立派な車
にて広島を一望できる小さな
山を登り観望しました。先輩
方が仰せのとおり、広島が砂
洲の町ということ、そのために
高い建物が少ないこと、高い山
が少なく(そのため原爆の
被害が大きかった)を実感。黙
禱。

次に、宮島へフェリーで渡り
ましたが、さすがに世界遺産に
登録された価値のある、又風格
のある、そして急峻な神の山で

あることを実感し非常に感動
しました。ケープルを乗り継ぎ
頂上まで伺いお参りをし、中国
支部の繁栄をお祈りいたしま
した。そして下界におり神社
を参拝、美味しい焼き牡蠣や
穴子飯に舌鼓を打ちました。

午後は、原爆ドームを見学、
平和記念館には多くの被害者
の遺品や写真がたくさん残っ
ており、戦争の無残さと平和
の大切さを改めて強く感じま
した。改めて黙禱。

午後6時から市内の喫茶店
で中国支部の総会が開催され
ました。出席者は岡島支部長
(14期)、坂本幹事(18期)、宇
田先輩(5期)、小笠原さん(22
期)、そして川本さん(26期)、
九州支部よりオプザバーと
して参加された森水さん(20
期)、最後になりましたが、早
朝より大変お世話になりました
沖林先輩(7期)、そして
私杉本(17期)の総勢8名にて
開催。

最初に、平成22年3月末に
逝去された18期の井上さんに
全員で黙禱を捧げ始まりまし
た。本年度の活動報告、次年
度の活動計画、会計報告がテ
キパキと行われた中、本部へ
要請として、「現在、支部への補
助が凍結された中、本部会費
5千円とは別に別途支部年会
費として3千円を徴収して基
本的な活動経費を賄っていま
すが、次期OB総会にて支部へ
の補助(以前は5百円×支部登
録者数)の再開を検討してほ

しい」との要請をいただきました
。この件につきましては、私
見ですが、支部の年間活動計
画に伴う予算計画の内容を支
部ごとに吟味のうえ、検討し
ては如何かと思えます。なお、
現在、中国支部の登録者数は
21名とのことでした。

総会終了後、場所を替えて
全員で懇親会、2次会3次会
と広島が夜が更けるまで楽し
く時間を過ごさせていただきました。
森水さんを含め中国支部の皆
様に改めて感謝申し上げます。
また、2次会では脇田さん
という48年卒の先輩に大変お
世話になりました。(深謝)

翌日は、またまた早朝より
沖林先輩に駅にて美味しいお
好み焼きをご馳走になり涙腺
を緩ませながら新幹線に乗り
込み一路東京に向かいました。
最後に、初日、司法書士事務
所勤務で多忙の中、車の運転

第2回OB六連ゴルフ大会
参加者報告

1期 池田 博一

第2回OB六連ゴルフ大会
が、平成22年12月2日(木)に、
埼玉県森林公園ゴルフ倶楽部
で開催されました。

明治からは、私池田のほか、
下條正則(2期)、斎藤齊(8期)
の3名が母校の名譽にかけて腕
に繰りをかけて出場しました。
各校の参加人数がバラバラ(立
教8名、早稲田8名、慶応5名、
東大4名、法政3名、明治3名、
要請人数は8名)でしたので、今
年は大学対抗戦をやめて個人

と楽しい会話でお付合いた
だきました坂本さん、そして
心温まるご案内をいただき、
また大変ご馳走になりました
沖林先輩に感謝を申し上げ、
中国支部総会の報告とさせて
いただきます。



<総会後の懇親会の様子>



<飯島神社にて
左：筆者、右：沖林さん>

戦のみになりました。

明治のメンバーの成績は、齊
藤8位、池田12位、下條14位で
した。団体戦があれば、明治優
勝だったのに、惜しい事をした
ナー!

パーティでは、各校懇談の後
成績発表。クラブバス発車時間
が迫りエールの交換・合同演奏
は省略して午後4時30分に散
会、来年の再会を期して夫々
家路に就きました。

次回幹事校はW大ですが、1
〜2年の内には明治が幹事校
になるのでメンバーを募ります。
春先に懇親ゴルフ会を計画
しますので、参加ください。